



「アジアフォーラム in 熊本」の開催

国際交流会館

熊本市国際交流会館は、本市の国際交流の拠点として、平成6年9月1日にオープンしました。

広々としたエントランスホール、市民と在熊外国人のふれあいや情報交換の場としての交流ラウンジ、研修室、会議室、レストランなどのほか、4ヶ国語同時通訳機能を備えた国際会議室及びホールがあり、国際会議やその他各種の会議、講演会等に利用されています。

また、この会館を中心に(財)熊本市国際交流振興事業団では、市民を対象とした国際理解講座や在熊外国人のための日本文化体験講座の開催、

さらには相談窓口の設置、市民友好の翼の派遣、ニュースレターの発行など、多様な事業を行い、市民の国際理解、市民と在熊外国人のふれあい交流を図っております。



交流ラウンジでの語らい



国際理解講座風景

幸せの4つの条件



仕事や活動をとおして 「生きがいを感じるまちづくり」

産業の振興によって雇用拡大をはかり、各々がやりがいのある仕事や活動の場を持てて、機能的で効率的な都市基盤の整備を目指します。

仕事や活動を通して

『生きがいを感じるまちづくり』

中小企業



川尻刃物の製作風景

本市の中小企業は、全事業所の約99%、従業員で80%以上を占めており、本市地域経済の活性化を図る上で中小企業の振興は重要な課題であります。

しかしながら、近年の中小企業を取り巻く環境は情報化・国際化の進展、技術革新、さらには規制緩和、

低価格化等、大きく変化しています。

このため、経営基盤の弱い中小企業の経営力の強化、人材の育成、マーケティング機能の強化、さらには技術開発力の向上などの支援策が必要となっています。

そこで、本市では中小企業が自らの持つ経営の柔軟性・創造性や機動

性を発揮し、多様化する市場ニーズに的確に対応した企業活動が営めるよう①経営力の強化、②産業基盤の整備、③資金調達の円滑化、④地場リーディング産業の振興、⑤人材の確保・育成という5つの中小企業振興施策にそって各種事業を積極的に展開しています。

仕事や活動を通して

「生きがいを感じるまちづくり」

魅力ある商店街



上通並木坂

中心商業地の振興

本市の上通・下通・新市街等の中心商業地は県内最大の広域商業拠点となっていますが、近年の消費者ニーズの高度化・多様化、ライフスタイルの変化等により商店街に求められる機能も多様化してきました。そこで関係機関や地元商店街と連携をとりながら、アーケード・駐車場・駐輪場・道路環境整備等、施設整備の助成を実施し、商業環境整備を推

進し、さらにファッションタウン構想の導入等により魅力ある商店街づくりを積極的に進めています。

地区・近隣商店街の振興

地区・近隣商店街は市民の日常生活に欠かせないものであり、地域コミュニティの核となる場でもあります。

また、地域特性を活かしたまちづくりという観点からも、地区・近隣商店街の果たすべき役割は非常に大

きといえます。

このような考え方から、本年、健軍地区には、ホール・集会場・ギャラリー等を有する文化施設を商店街振興の拠点施設としてオープンしました。

また、平成4年度から商店街活性化のためのイベント開催補助等、ソフト事業に対する支援を実施しています。

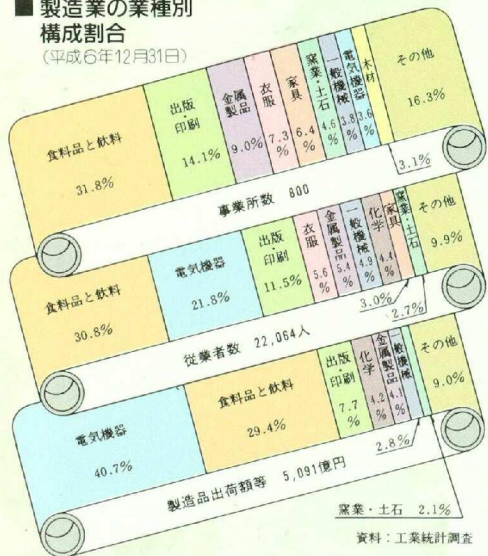
仕事や活動を通して

「生きがいを感じるまちづくり」



金型製作工場（熊本コスモ工業団地）

■ 製造業の業種別 構成割合 (平成6年12月31日)



本市の工業は、その多くが中小企業であり、食品工業を中心に出版・印刷、金属製品、衣服、家具等都市生活と関連の深い工業が大きなウェイトを占めています。

したがって、この中小企業の活躍が地域経済の活性化を図る上で重要な役割を担っています。

そこで、中小企業の振興を支援し、活力ある産業活動の展開を図るため次の施策を推進しています。

1. 経営力の強化

経営資源に限りのある中小工業を支援するため、地域のマーケティング情報・各種データベース情報の提供、経営相談・診断指導、経営セミナー等を実施しています。

また中小企業の共同化を推進するため、業界との共催事業、設備近代化及び組織化・高度化事業に対して支援をします。

2. 地場リーディング工業の振興

本市において集積が高く他の産業との強い関連を持つ食品、出版・印刷産業を地場リーディング産業と位置付け発展育成を図るため、業界別

の組織活性化研究会などを開催しています。

また、中小工業の振興には、地元の方々に地場の優れた製品をご愛用いただくことが重要です。そこで、市民及び関係業界の方々に地場の製品を紹介し利用いただくため、各種フェアの開催・参加、物産振興事業などを実施しています。

3. 工業立地環境の整備・改善

活力ある生産基盤の整備を目指して、周囲の環境と調和した開放的なガーデンファクトリーパーク（食品工業団地）づくりを推進しています。

電子部品製造工場（熊本コスモ工業団地）



仕事や活動を通して

「生きがいを感じるまちづくり」

流通・情報拠点

流通業務団地

本市の卸売業、運輸業、倉庫業等の広域流通拠点施設として整備を進めていた流通団地は、平成4年9月に流通業務施設の建設が全て完了し、本市の広域流通拠点として地域経済の活性化に大きな役割を果たすことが期待されています。また、団地内には流通情報の発信拠点となる熊本市流通情報会館が平成元年4月にオープンし、セミナー・研修・経営相談等を通して、企業経営の近代化、合理化を支援しています。

さらに昭和62年に設立された第3セクターである㈱熊本流通情報セン

ターの事業等により、広域流通ネットワークシステムの構築等を図り、中小企業の情報化を積極的に支援しています。

熊本流通情報センター

熊本市は、昭和59年に通産省のニューメディア・コミュニティ構想のモデル地域に指定されました。

この構想は、大都市圏と地方の情報格差を是正し、全国的にバランスのとれた情報化や地域のニーズに応じた情報システムの構築と普及を目的としています。

そこで、この構想を推進するため国・県・市・地元経済界等の出資に

より第三セクターとして㈱熊本流通情報センターが昭和62年に設立されました。

この熊本流通情報センターは、地元の卸・小売業を中心に「広域流通ネットワークシステム」の構築を推進しています。

現在、小売業と卸売業の間を結ぶ受発注オンラインシステムを中心に流通関連のシステム開発などの事業を展開しています。

テレトピア

熊本市は、昭和60年に益城町と共に郵政省よりテレトピア構想のモデル地域の指定を受け、熊本情報案内システム（ローカルキャプテン）、熊本県健康管理システム、図書館情報ネットワークシステム、テクノポリス技術情報システム、熊本市総合行政情報システムの5つのシステムを構築しました。

更に、平成元年度には、ヒューマンコミュニティネットワークシステム（ケーブルテレビ）も新たに追加し、高度情報化社会に対応した地域情報化を推進しています。

この中で、ローカルキャプテンは、公的施設を中心に広域に公衆端末を設置し、観光情報、コミュニティ情報などを提供しています。

また、ケーブルテレビは、受信可能エリアが75,000世帯、加入世帯が13,155世帯に増え、将来、双方向性の特徴を生かした活用により、医療、福祉、防災、教育など、多分野にわたって市民生活の質的向上に貢献することが期待されています。

今後さらに、21世紀に向けて光ファイバー網が張り巡らされるマルチメディア社会の到来が予想される中で、情報拠点都市として、テレトピア構想の一層の推進を図り、活力あふれる街づくりを目指しています。

流通団地



仕事や活動を通して

「生きがいを感じるまちづくり」

雇用福祉

ゆとりある勤労者生活を応援します

本市の雇用福祉対策は、人材の確保・定着、勤労者の技能技術の向上、福利厚生の実を主な事業として、勤労者の皆さんが豊かなライフワークを送ることができるような職場づくりのお手伝いをしています。

(人材の確保・定着)

若年労働者の確保・定着を図るため、近隣町・商工団体・企業とともに熊本雇用対策協議会を組織する一方、熊本市産業開発求人対策協議会等民間団体とともに人材の確保に努めています。

また、中高年齢者雇用対策としては、熊本中高年齢労働者福祉センター（サンライフ熊本）や熊本市役所に相談窓口を設置しています。

(技能・技術の向上)

本市産業の発展を担う若年技能者・技術者等の人材育成機関として熊本市職業訓練センター、熊本職業訓練短期大学校、熊本市事業内高

等職業訓練校の運営を支援し、また勤労者・未就職者・転職希望者等を対象にワープロ・パソコン等の各種講座を設けています。

(勤労者福祉の向上)

施設面では、勤労者の健康増進と文化・教養の向上を目的として設置された中央勤労青少年ホーム、北部勤労青少年ホーム、勤労婦人センター、熊本中高年齢労働者福祉センター（サンライフ熊本）、熊本勤労者体育センターがあり有効利用を図っています。

制度面では、熊本市中小企業勤労者福祉共済制度を設け、勤労者のスポーツ大会・団体ツアー等勤労者の福利厚生のために各種の事業を行っています。

職業訓練短期大学校の実習風景

中小企業のための

ふれあうきょうさい

熊本市中小企業勤労者福祉共済
あなたの会社の福利厚生を熊本市があと押しします。

この共済に加入されると、わずかな掛金
(1人1月300円)で…従業員の方々に…

福利

自分の時間を積極的に活用して
楽しい思い出を

それぞれの季節………ツアー旅行
に安い費用で参加できます

職場対抗………スポーツ大会
で汗を流して親睦を

今の世の中………文化教養講座
を軽い気持ちで

夏には………海・山の家が利用できます
いるんな………割引があります

いるんな………補助もあります

給付

お祝い、お見舞いとして

満20歳に達したとき………成人祝金

結婚したとき………結婚祝金

出産したとき………出産祝金

子供さんが小学校に入学したとき………入学祝金

子供さんが中学校を卒業したとき………卒業祝金

結婚式を迎えたとき………結婚25年祝金

病気やケガで30日以上欠勤したとき………傷病見舞金

共済加入期間が5年を超えたとき………永年褒賞金

共済加入期間が10年を超えたとき………永年褒賞金

本人が死亡したとき………死亡弔慰金

配偶者が死亡したとき………死亡弔慰金

親等血族が死亡したとき………死亡弔慰金

貸付

不時の出費が必要ときに

仕事や活動を通して

「生きがいを感じるまちづくり」

観光コンベンション

本市は、肥後54万石の城下町としての長い歴史と伝統ある文化のもと、熊本城や水前寺成趣園など優れた観光資源を有するとともに、「国際観光モデル地区」に指定され、九州国際観光ルートの要衝として、年間500万人を超える観光客が訪れる国際色豊かな都市です。

近年、自由時間の増大や生活意識の変化により、余暇活動に対する需要が高まるとともに、観光ニーズも多様化、個性化しており、新たな観光ニーズに対応した観光都市としての魅力向上に努めています。

また、「国際会議観光都市」の認定を機に、地域経済の活性化に大きな効果を及ぼすコンベンション都市づくりにも積極的に取り組んでいます。

豊かな観光資源

豊かな水と緑に恵まれ歴史に彩られた本市には、日本三名城のひとつに数えられる「熊本城」をはじめ、江戸時代の貴重な上級武家屋敷を移築・復元した「旧細川刑部邸」、

清冽な地下水の湧く桃山式回遊庭園「水前寺成趣園」、細川ガラシャの眠る「立田自然公園」、剣聖宮本武蔵が兵法五輪の書を著した「壺巖洞」(五百羅漢)などの多くの歴史遺産があります。また、夏目漱石、小泉八雲、徳富蘇峰・蘆花の足跡などの文学的遺産も残っており、特に夏目漱石は今から100年前の明治29年に五高の英語教師として赴任し4年3ヶ月を熊本で過ごしており、俳句や小説「草枕」など熊本を題材にしたものを数多く残しています。さらに、豊かな自然と歴史・文化が残る金峰山一帯など多くの観光資源に恵まれています。

観光シンボルゾーンの整備

熊本城を中心としたシンボルゾーンでは、長堀通りの景観整備、熊本城周遊バスの運行、景観にあわせた標識の整備、城内を5ヶ国語で案内する国際観光案内システム「武者ガイドくん」の導入などを行っ

す。また、ソフト面では城内をきめ細かく案内するレディースガイドの導入など本市を代表する観光地としての整備を進めています。

観光振興懇談会

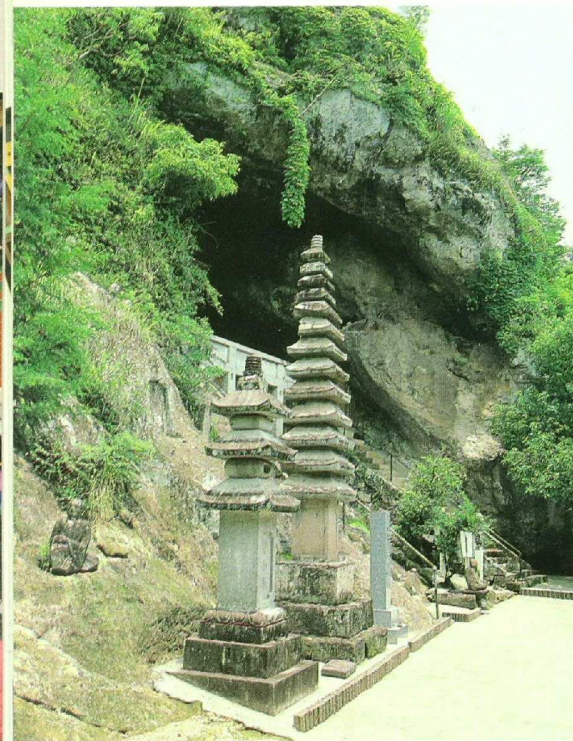
観光ニーズの多様化や九州各地の巨大テーマパークの出現により、本市の観光は大変厳しい状況にあります。このような中で間近に迫る国体や21世紀を展望した観光振興策について、広く市民や関係各層に意見を求め審議・検討するために、民間有識者や学識経験者からなる観光振興懇談会を設立し、将来に向けた本市観光発展のための提言をまとめることにしています。

広域観光ルート

九州観光の一体的振興・発展を図るため、九州の主要都市と連携し国内及び海外からの観光客誘致に努めています。「九州横断ルート」、「九州縦断ルート」などの広域観光ルートを通じて



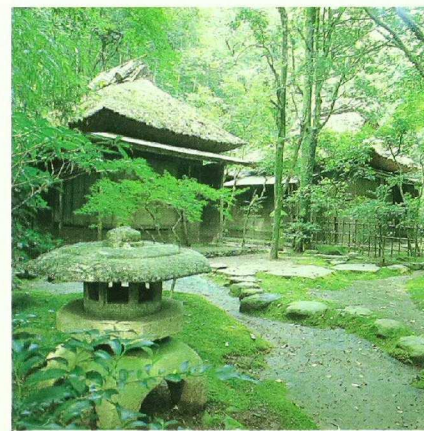
本妙寺



霊巖洞



熊本城



立田自然公園「仰松軒」



水前寺成趣園



熊大赤門



峠の茶屋公園



熊本市動植物園

コンベンションの振興

本市では、コンベンション誘致の実効を図るため、平成3年11月に市・県・民間企業団体からの出捐をおぎ財政基盤の充実した、財団法人熊本国際コンベンション協会を設立し、国内外の各種学会・大会等の誘致支援事業等に取り組み、コンベンションの準備・企画段階から運営までの相談に応じています。支援体制では、特にコンベンションボランティアを活用した市民ホスピタリティの充実に力を入れています。

本市でのコンベンションの開催件数は、毎年300件を越え、中でも国際的な会議・大会は近年著しい伸びを示しています。平成9年の「第15回男子世界ハンドボール選手権大会」平成11年の「くまもと未来国体」をはじめとする大規模な大会や多数の国際会議、全国大会等が熊本で開催されます。



8月11日から13日までの3日間、暑い熊本の真夏を一層熱く燃えたたせる“火の国まつり”。

まつりのハイライトは、なんといっても12日の「おてもやん総おどり」おなじみのメロディーのおてもやんと激しいサンバおてもやんのリズムが街中に響きわたり、真夏の夜の熱気を盛りあげます。フィナーレの花火大会までたのしい催しがいっぱいです。

県外の観光客や外国人、九州各市からのおどり隊も参加する今や国際色豊かな市民総参加の夏まつりです。

